

「東部中学校区6小学校 再編活性化 意見聴取会」 議事録（要点筆記）
（東黒部小学校）

日時：令和6年5月29日（水）19:00～20:15

場所：東黒部小学校 体育館

出席者：

【地域住民・保護者】20人

【学校関係者】2人

【教育委員会】教育長 中田雅喜

事務局長 刀根和宜

事務局次長 金谷勝弘

教育総務課長 西浦有一

教育総務課 学校活性化推進室長 北畠和幸

教育総務課 学校活性化推進室主幹 清水尚美

教育総務課 学校活性化推進室主任 地主博一

学校マネジメントコーディネーター 田中伸之

【市議会】奥出かよ子 西口真理 山本芳敬（五十音順・敬称略）

挨拶：教育長

本日は、お集まりいただき、ありがとうございます。

住民自治協議会会長を始め、地域や保護者の方々に、東部中学校区の子どもたちの学びについて議論をしていただき、一定の方向性を出していただきました。

本日は、その方向性をご説明させていただき、様々な観点からご意見をお伺いできればと考えております。

忌憚のないご意見を、よろしくお願いいたします。

教育委員会自己紹介

資料説明：事務局

資料『松阪市立東部中学校区6小学校 再編活性化に関わる意見聴取会』

（4ページ）

・全国的に児童生徒数が減少していることから、平成27年1月に「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置に関する手引」（文部科学省）が策定された。

・松阪市教育委員会では、令和2年度に検討委員会を立ち上げ、外部の委員による検討を重ね、令和5年3月に「松阪市立小中学校の適正規模及び適正配置に関する基本方針」を策定した。

（2・3ページ）

・松阪市では、4人グループ5つで議論を深められるなどの理由から、「最低限確保したい学校規模」を1学級20人程度とした。

・東部中学校区6小学校のうち5校が対象校であることから、東部中学校区全体で再編活性化の検討を開始した。掃水小学校は対象校ではないが、学校規模としては「小規模校」に分類される。

(4ページ)

・令和5年度は、各小学校区において、学校との関わりが深い方々から意見交換を開始した。

・住民自治協議会からの提案を受け、「東部中学校区学校活性化協議会」を設置し、各小学校区から保護者代表・住民代表・学校運営協議会代表・学校代表が集まって議論を重ねた。

・第3回東部中学校区学校活性化協議会において、再編活性化の方向性が確認された。

(5・6ページ)

・「6小学校を1校に統合する」という意見もあったが、最終的に「複式学級を早期に解消する」ことを最優先に、「6小学校を2校に統合する」方向で、学校活性化協議会で案を取りまとめていただいた。

・学校活性化協議会内に設置する準備部会は、地域・学校運営協議会・保護者・学校の代表者で委員を構成する。検討内容としては、校名・校歌・カリキュラム・学校運営協議会組織・学校予算・学校備品・通学路・スクールバス・学童・PTA組織などがある。

・『学校活性化協議会だより』やホームページで周知を図る。

・配慮すべき主な事項⑤「新入学児童に対する配慮」については、統合が具体的になるにつれ、要望する声をいただくようになった。今後、準備部会で協議いただきたい。

(9ページ)

・「地域総ぐるみでの教育」として、コミュニティ・スクール、探究的な学習、小中連携教育を3本柱として取り組む。

・コミュニティ・スクールについては、中学校区で連携・協働できる組織を構築する。今後は、クラブ活動の地域移行やPTA組織についてなども、学校運営協議会で検討をしていくことが考えられる。

・校区が広がることを利用して、現在取り組んでいる「探究的な学習」をさらに充実させていく。それにより、子どもたちと地域の方々が繋がる機会にもなる。

・コミュニティ・スクールや探究的な学習を支えるために、「小中連携教育」を推進する。

1年をかけて、保護者、地域住民、学校運営協議会委員、学校活性化協議会委員の方々との議論を進めてまいりました。本日は、「子どもたちのより良い教育環境の実現」の観点から、皆様のご意見をお聴かせください。

質疑応答

参加者

朝見小学校の施設や体制は、200人の児童を受け入れられるのか。

事務局

朝見小学校の運動場は他の学校に比べて少し狭いですが、児童数に対して狭いということではないとの認識です。

統合時には教室数は足りないので、校舎を増築していく予定です。

参加者

統合は前を向いた話だとは思いますが、当然デメリットもあると思う。そのシミュレーションも必要ではないかと思う。

教育長

他の統合事例では、「学校に子どもたちの声なくなることは、地域にとって寂しい。」というご意見や、「学校単位で行われていた運動会や文化祭がなくなる。」というご意見があったが、統合校での子どもの学びが地域にしっかりと根付いていったことで、解消されていったと聞きました。

新しい学校での友人関係に対して、子どもが不安になることも考えられます。教育委員会としては、例えば教職員や相談員の数を増やしたり、タブレットを活用したりして、きちんと対応していきたいと思えます。

今回、教育委員会で決めたことはひとつもありません。協議会の中でご意見をいただき、協議をして決めていただきました。

東黒部小学校の複式学級でも、香肌小学校の複式学級でも、素晴らしい学びが行われていると思えます。しかし、複式学級の解消はやはり必要だと考えています。10年先が見通せない時代の中で、子どもたちが主体的に活動していくための基礎的・基本的な力は、「探究する力」だと思えます。自ら課題を見つけて、友達と一緒に、または友達の力も借りながら解決していく力です。そのためには、一定の人数が必要だと考えています。

事務局

昨年度、各校区で熟議をさせていただきました。その中で統合のメリットとして、「競争意識が芽生える。」「多くの友達と交流ができる。」「大人数でスポーツができる。」「多くの先生から学ぶことができる。」「知識の引き出しが広がる。」「中学進学への不安が減る。」「男女比のバランスが良くなる。」などが挙げられました。また、統合のデメリットとして、「人間関係が構築できるのか不安。」「じっくり見えてもらえなくなる。」「ブランコが並ぶ。」「仲間外れやいじめが増加する。」「通学距離が長くなる。」「バスに乗り遅れたらどうなるのか。」「地域の行事はどうなるのか。」などが挙げられました。

こういった議論を通して、最終的には、学校活性化協議会の中で「統合する方向性で協議を進める」との判断をしていただきました。

教育長

デメリットは必ずあります。そのデメリットを想定して、具体的な解決策を導き出していくのが準備部会です。そこでの議論は、『学校活性化協議会だより』や学校を通じてしっかり周知を図っていきたいと思えます。

参加者

朝見小の運動場はどのくらい狭いのか。

運動会や文化祭が無くなるのではないかと心配になる。また、その際の駐車場もないのではないかと。

現在、子どもたちと一緒に通学している。通学がどのようになるのかが心配。通勤の車も多く、安全

が守られるようお願いしたい。

事務局

運動会や文化祭はなくなりません。

駐車場については、様々な方法があろうかと思えます。運動会でなければ運動場を使っただけだと思います。

通学については、基本的にスクールバスを運行する方向で調整します。ただ、スクールバス導入による体力不足の事例も報告されており、一定程度歩いていただくのがよいとの認識もございます。

現在は、比較的安全な通学路を通っていると思えますので、できる限り活用することも考えられると思えます。

現在の通学路より交通量が多いところを歩くことがないように考えていきます。

教育長

先進地の事例や教育委員会としての案は持っていますが、地域によって事情が異なります。心配されていることをしっかり議論していただき、必要に応じて予算や具体的な手立てをとっていきたいと思えます。

スクールバスの導入により子どもの肥満が増えたという他市の事例もあります。準備部会で議論を進めていただきたいと思います。

参加者

学校の跡地については、「全てを地域で面倒を見てください。」となるのか。

教育委員会が考えている方向性を教えてほしい。

教育長

教育委員会として、具体的に考えていることはありません。跡地の活用については、地域でしっかり議論をしていただきたいと思います。教育委員会からも様々な活用方法や、補助金などのご提案をさせていただきます。

避難所としての機能だけは、残していきます。

参加者

窓口は教育委員会でよいのか。

事務局

用途が決まるまでは教育委員会ですが、用途が決まり、他の部署に移る場合には、その部署に引き継ぐこととなります。

参加者

3校（東黒部小、西黒部小、機殿小）が同じ状況になる。令和8年度はあっという間にくる。

教育長

校舎の有効活用が、地域の活性化に結び付いていくと思います。
なるべく早く、地域として活用を考えていただけるとよいと思います。

参加者

「令和8年度に開校」ということが、最終的に決定するのはいつになるのか。

事務局

意見聴取会でいただいたご意見を反映した上で、教育委員会で手続きを取っていきます。決定は、今年の夏頃をめざしています。

参加者

朝見小学校の増築は、令和8年度の開校に間に合うのか。

事務局

今年の夏頃に決まれば、速やかに予算を取って工事に入っていきます。令和8年の4月に間に合うように進めてまいります。

参加者

朝見小学校ではなく、東黒部小学校の校舎を活用する案は出なかったのか。おそらく、ハザードマップを見て決めたのではないかと想像する。

事務局

東部中学校区では、掃水小学校のみが複数学級対応の校舎となっています。その他の小学校については同じ規模であるため、いずれも増築が必要となります。

朝見小学校の校舎を活用する理由としては、建築年度が最も新しいことと、最も児童数が多いことから、移動する児童が最も少なくなるためです。

ハザードマップについても、考慮した部分ではあります。

参加者

朝見小学校は駐車場が少ないので、検討してほしい。

事務局

統合に合わせて、東部中学校区でコミュニティ・スクールを組織していきます。その中で、駐車場の件についても考えていただくことができます。

物理的に足りない部分については、教育委員会として協力させていただけるところもあると思います。